

Aquilion Serve

紹介コーナー - 第2回 -



2022年4月にリリースされた新80列装置の Aquilion Serve 。
第2回は“Automatic Camera Positioning”についてのご紹介です。

Workflow

安心・安全・簡単・快適な検査を
提供するオールラウンドCT

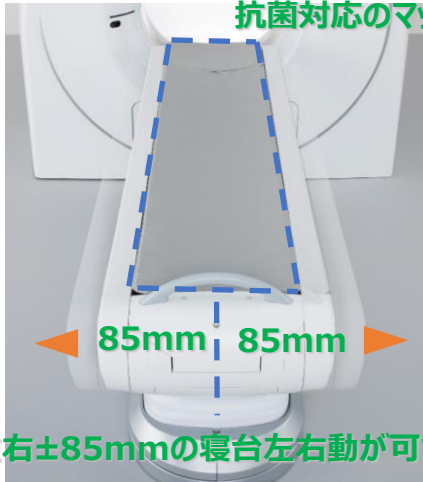
◆オートマチックテクノロジーのための、新たな技術

Aquilion Serveでは、Canon CTで初めて“ガントリタッチパネル”を採用しております。タッチパネルでは、主に以下3つの操作が可能となっております。“Automatic Camera Positioning”では、撮影部位をパネルで選択した後、カメラで体位を認識し、パネル下のボタンを長押しすることで撮影開始位置まで寝台を誘導します。寝台移動は、パネルで直接行うことも可能です！



◆開口径800mm、*1寝台左右動±85mm達成

抗菌対応のマットレス



左右±85mmの寝台左右動が可能！

開口径800mmを実現。さらに、左右動は従来の2倍（±85mm）可動範囲が大きくなっております。

“Automatic Camera Positioning”では、左右動機能も連動します。

また、スキャン計画時に位置決め画像をコンソール上で移動させることで、その移動量分を寝台が追従するため、検査室に入ることなく操作室側から寝台移動が可能です。

*1寝台左右動はオプションとなります。 *製品に関する薬機情報は以下の通りです。

一般的名称	全身用X線CT診断装置
販売名	CTスキャナ Aquilion Serve TSX-307A
認証番号	304ACBZX00001000